

2015年10月1日時点の人口データの精度について

Accuracy of Population Data as of October 1, 2015

山田 茂 (Yamada Shigeru)

国士舘大学 (Kokushikan University)

ecyamada@kokushikan.ac.jp

本報告の目的は、2015年10月1日時点の静態人口データである国勢調査・住基台帳などの集計結果についてその精度を検討することである。2015年国勢調査では、インターネットを利用した回答方法の全国への導入などの実施方法の変更が行われた(表1)が、大都市において協力が得にくい傾向などは前回と同様であった。

表1 国勢調査の回収方法 (単位: %)

地域	2010年	2015年			
	全国	全国		政令市・特別区	
報告		世帯から	世帯以外	世帯から	世帯以外
ネット	1.0	36.9	—	34.6	—
郵送	57.4	34.1	—	36.6	—
その他	41.6	15.9	13.1	7.5	21.3

2015年国調によって把握された人口の全年齢総数の(前回調査の結果およびその後の届出などに基づいて算出された)推計人口に対する差は減少したが、若年層での差はかなり大きい(表2)。

これは、前回調査の際は親元でカウントされた場合が多い若年層に把握漏れと「年齢不詳」者が、多数発生したことの影響ではないかと考えられる。

表2 国調の推計人口に対する下回り(単位: 万人)

10月1日	00年	05年	10年	15年
男女全年齢	0	8	69	20
男 20代前半	-8	-12	-17	-16
20代後半	-9	-14	-9	-8
女 20代前半	-7	-9	-12	-10
20代後半	-5	-7	-1	-2

また、国調と同時点の住基人口を比較すると、人口の純流出が多い地域では概ね「住基>国調」、

それ以外の地域の大部分では「住基≤国調」という関係が認め

られる(表3)。既転出者の届出遅れを反映しているのではないかと考えられる。

(注)推計人口は前回国調結果(年齢・国籍不詳按分済)に基づく概算値

表3 2015年10月の住基人口(=100)に対する県域別国調把握総数の水準

	東京都	宮城	福岡	石川	北海道	新潟	・	奈良	愛媛	青森
男性	100.8	100.6	99.1	99.8	99.3	99.1		97.4	97.4	96.8
女性	100.9	100.2	100.1	99.6	99.8	99.4		98.9	98.7	98.3

大部分の項目の「不詳」は前回より増加しており、移動関連項目において特に高率であった(表4)。「不詳」率は若年層・単独世帯・共同建て住宅居住世帯・大都市などにおいて全般に高かった(表5~表9)。他方、「従業上の地位」「産業」「職業」項目では「不詳」「分類不能」数が前回よりも減少した(表4)。

表4 不詳数・分類不能数の推移

(単位：万人)

項目	年齢	居住期間	5年前の 常住地	従業・ 通学地	15歳～		就業者	
					配偶 関係	労働力 状態	従業上 の地位	産業
2000年	22.9	135.5	0.1	174.1	98.5	174.1	0.5	75.0
2005年	48.2	-	-	335.7	147.2	335.7	0.8	114.6
2010年	97.6	616.4	838.8	883.8	207.1	620.6	224.5	346.0
2015年	145.4	1088.9	1120.2	1125.7	271.3	774.3	81.0	161.2

注) 2015年調査の「従業・通学地」・就業関連項目は1%抽出集計。「産業」は「分類不能」。

表5 2015年[年齢][配偶関係][居住期間][従業・通学地]不詳率 (単位：%)

項目	年齢		配偶関係:15歳～		居住期間		従業・通学地	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全国	1.34	0.96	2.94	2.04	9.54	7.65	9.87	7.90
町村部	0.42	0.26	0.55	0.45	-	-	-	-
政令市・東京区部	1.85	1.38	5.93	4.14	18.37	15.09	17.69	14.45
東京区部	2.22	1.76	11.18	7.98	30.50	26.17	29.14	24.43

注) 「従業・通学地」項目は1%抽出集計。

表6 2015年[年齢]不詳率

(単位：%)

	住宅に住む 一般世帯	一戸建	長屋建	共同 住宅	うち1・2階		単独 世帯	うち 東京区部
					建物全体	居住		
男性	1.30	0.50	2.27	2.74	3.35	2.99	6.51	7.42
女性	0.96	0.35	1.52	2.14	2.83	2.39	4.73	6.68

表7 2015年全国[配偶関係]不詳率 (年齢不詳者を除く)

(単位：%)

	15歳 以上	10代 後半	20代 前半	20代 後半	30代 前半	30代 後半	40代 前半	…	65歳 以上	単独 世帯	施設 世帯
男性	2.94	1.06	4.78	6.13	4.98	3.83	3.31	…	1.80	14.84	6.06
女性	2.04	0.86	3.65	4.23	2.98	2.19	1.80	…	2.02	9.95	6.06

表8 年齢別[配偶関係]不詳高率地域

(単位：%)

	東京港区 20代後半	豊島 同左	台東 同左
男性	32.28	30.12	29.28
女性	24.83	25.04	21.74

表9 [居住期間][5年前の常住地]不詳高率地域

(単位：%)

	大阪市 浪速区	東京都 港区	東京都 千代田区
居住期間	48.29	47.60	41.06
5年前の常住地	48.45	47.81	41.05

国勢調査の精度の全般的な低下傾向と属性別傾向は、2015年調査でも大部分が継続している。住基人口には届出遅れの転出・転入者が反映されていないと考えられる。